

いんくる

年4回発行

2020.1

No.39

障害者就業支援
事業

障害者の『働きたい』と企業の『働いてもらいたい』を応援する



©Artbility 加茂賢一「旧 古河庭園 東京」(精神障害)

職場定着に向けた取り組みについて

- 1 東京ジョブコーチ職場定着支援事業について
- 2 障害者雇用エクセレントカンパニー企業の取り組み紹介



1 東京ジョブコーチ職場定着支援事業について

障害者が就職し、新しい職場で円滑に働き続けることができるよう、また、障害者を雇用する企業がスムーズに受け入れられるように、都独自の「東京ジョブコーチ」が企業を訪問し、障害者の作業適応支援や職場内の環境調整など、職場定着に向けた支援をします。

【東京ジョブコーチとは】（公財）東京しごと財団が認定した職場適応援助者です。



■ 支援対象となる障害者

都内に在住又は在勤の障害者です。

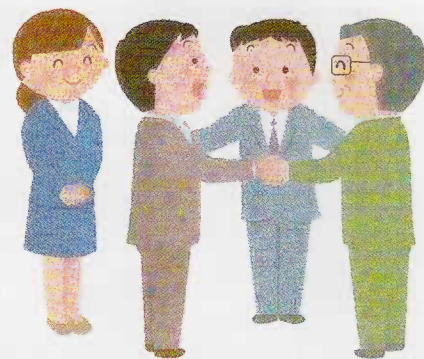
※都外にある企業は、東京ジョブコーチが訪問できる範囲に限ります。

※職場体験実習や特別支援学校卒業生の定着支援にもご利用できます。

■ 支援内容

個々のニーズに応じて下記のような支援を行います。

1. 支援対象者の業務内容の検討・組み立て
2. 作業習得支援
3. コミュニケーション支援
4. 通勤支援 等



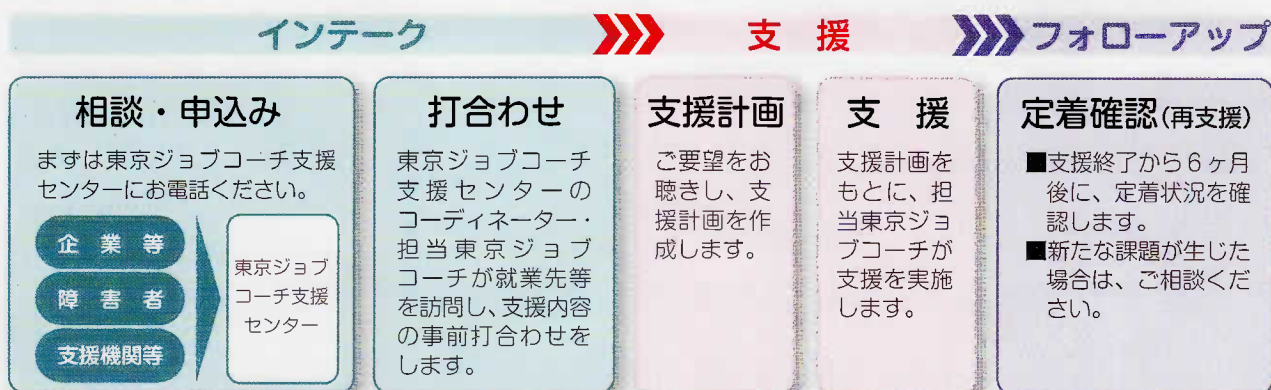
■ 支援回数・期間等

支援回数は、障害者1名に対して20回（20日）以内を目安としています。

20回（20日）は連続日程のほか、週に1回ずつ（20週）や、支援の初期は高い頻度、その後は低い頻度にするなど、個々の支援に応じて利用できます。

■ 利用の流れ

支援の流れはおおむね次のとおりです。支援を受けたい障害者、企業・支援機関等の方は、まず「東京ジョブコーチ支援センター」にお電話ください。





■ 支援事例

<支援対象者> 30代 精神障害 入社3年目

<業務内容> 病院内洗濯室でのリネン業務、総務課での事務補助

<課題・支援ニーズ>

- ①緊張を緩和し安定した精神状態で作業に取り組むことができるようになってほしい。
- ②コミュニケーションの取り方等、社会人としてのマナー・ルールについてもサポートして欲しい。

【支援結果】

- ・本人とのインテーク面談で、これから新たに取り組むリネン業務に対し、不安な気持ちであることがわかった。そのため、新しい業務は一つずつ確認しながら行い、マニュアルも作成することとした。その結果、不安は軽減され、自信を持って取り組むことができるようになっていった。
 - ・事務補助作業ではミスを減らし、効率の良いやり方を習得することで、スピードアップできると共に、落ち着いて業務に取り組むことができるようになっていった。
 - ・コミュニケーションの取り方についての助言も素直に受け入れ、職場での対人関係は良好で笑顔が見られるようになった。
- ⇒支援終了時には職場で役に立っているという自信と達成感を感じることができ、前向きに考えることができるようになっていった。

■ 利用者の声

- ・障害者の方と仕事をしていく上で、ほとんど知識や経験がない状態でしたが、間に入って頂いた中で、相互コミュニケーションを適切に行って頂き、又アドバイスを頂けた事により、定着に向けて問題なく、順調に進んだと思っております。（企業担当）
- ・東京ジョブコーチが支援対象者の特性を理解した上で、企業、関係機関と連携を図りながら適切な業務支援、環境調整をしてくださいました。結果、ご本人も安定して就業でき、職場の方とも良好な関係を構築できました。（支援機関）
- ・毎回親身に真剣に話を聞いてくださったので、安心して相談させていただくことができました。たくさん共感してくれて、同じ目線で考えてくれて、実行しやすい問題解決策を提案してくださったので、解決できた事がたくさんありました。（障害者）

■ センター長からのメッセージ

障害をお持ちのご本人と雇用される企業にとって、両方に目を配ることができる第3者（東京ジョブコーチ）がいることは、より良い職場定着につながると考えられます。

東京ジョブコーチ支援センターでは、職場定着に関する悩みや不安の解消に向け、できる限りの支援をさせていただく所存です。ぜひお気軽にお問い合わせください。



※令和元年7月から「来所相談窓口」を代々木に開設しています。

支援に関するご相談・ご利用のお申込み：東京ジョブコーチ支援センター

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-11-2 代々木コミュニティビル3階

【電話】03-3378-7057 【FAX】03-3378-7058

